役場旧庁舎跡地の利活用について [調査検討報告書]

~ 多世代交流エリアの提案 ~



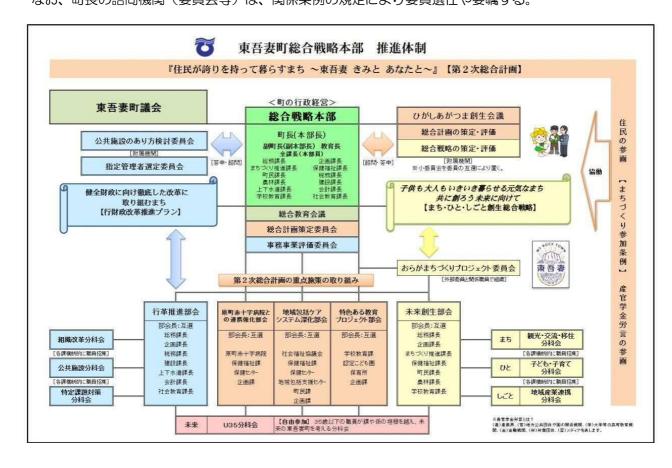
令和2年2月3日決定 東吾妻町総合戦略本部 (行革推進部会)

一目次一

1	はじめに(1)総合戦略本部について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2	「役場旧庁舎跡地の利活用について」調査検討の報告 (1)調査検討の経過等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3	行革推進部会(特定課題対策分科会)の組織体制 (1)検討にあたったメンバー・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

【参考】東吾妻町総合戦略本部の組織体制図

東吾妻町総合戦略本部設置規程(平成27年4月1日施行)による。 なお、町長の諮問機関(委員会等)は、関係条例の規定により委員選任や委嘱する。



1 はじめに

(1)総合戦略本部について

東吾妻町では、町政における重要な計画をトップマネジメントによって進めるとともに、庁内 横断的な行政経営を推進していくため、平成27年度より「総合戦略本部」を設置している。

この会議は毎月初めを原則として定例的に開催し、町の組織的な意思決定や協議を行っている。

【概要】 ・本部長(町長)、副本部長(副町長)、本部員(教育長及び全課長)で組織

- ・行政経営上の重要な事項について、取組方針や方向性の調整と決定
- 各課横断的に取り組む事業の調整とその進行管理

(2) 行革推進部会と3つの分科会について

総合戦略本部では、町独自に策定する計画「行財政改革推進プラン」について、全庁的な実施 推進を図るため、課長レベルで組織する部会と調査検討テーマに添って関係課の職員を招集する 分科会を複数組織し、健全財政に向けた取り組みが円滑に行われるよう各会議を進めている。

【部会名】 行革推進部会(関係課長7名、部会長は互選)

【分科会】 ①組織改革分科会 「定型的な業務の委託の可能性調査」

②公共施設分科会 「公共施設等総合管理計画の全庁的な取組」

③特定課題対策分科会 「役場旧庁舎跡地の利活用」

(3) 特定課題対策分科会の新設

町役場本庁舎の建設は長年の懸案であり、庁舎建設基金の積立てなど「行財政改革推進プラン」 においても重点的な取り組みを進めながら、平成31年1月4日より新庁舎が開庁となった。

町政において次の大きな課題となった旧庁舎跡地の利活用検討について、行革推進部会で協議した結果、新たな分科会を立ち上げて専門的に調査検討を行うこととし、特定課題対策分科会(以下、「分科会」という。)の設置を総合戦略本部へ提案・了承されたため、庁内横断的に関係課の中堅職員を招集し、令和元年5月から検討作業に入った。



旧役場庁舎(昭和33年10月完成、RC造増改築あり)



新庁舎開庁式典 (平成31年1月4日(金)挙行)

2 「役場旧庁舎跡地の利活用について」調査検討の報告

(1)調査検討の経過等

今回のテーマについて、分科会ではスピード感を持った調査検討に努めてきたが、この課題に 関わる会議等の経過概要を改めて整理した。

【都市計画マスタープラン策定時の動き】

平成30年8月4~5日 東洋大学(理工学部建築学科)田口研究室の学生と准教授による

まちづくり合宿 [町内フィールドワークと町民懇談会]

10月22日 田口研究室によるプレゼンテーション [東吾妻町の将来都市像と役場

庁舎跡地活用計画の提案]

【庁内における会議等の動き】

平成31年4月2日 第50回総合戦略本部「役場旧庁舎跡地の利活用の検討着手を指示]

4月15日 第36回行革推進部会「本部の指示による分科会の新設協議]

4月24日 町長、副町長の考え方等聞き取り

4月26日 第51回総合戦略本部「特定課題対策分科会の新設を承認」

令和元年5月22日 第1回特定課題対策分科会 [調査検討テーマや今後の進め方等協議]

6月19日 第2回特定課題対策分科会 [先進地視察等協議]

7月17日 第3回特定課題対策分科会 [国土交通省職員との意見交換等協議]

7月30日 第39回行革推進部会 [分科会の第1次的なまとめ整理] 8月1日 第54回総合戦略本部 [方向性やエリアの再検討を指示]

8月20日 第4回特定課題対策分科会 [国土交通省職員が来町、意見交換] 8月下旬~ 群馬原町駅南側の空き店舗等の地権者意向調査 ~10月中旬

9月25日 第5回特定課題対策分科会「田口准教授と意見交換]

10月16日 第6回特定課題対策分科会[前回までのまとめと先進地視察協議] 11月22日 第7回特定課題対策分科会「先進地を視察、長野県小諸市ほか」

11月27日 新年度予算に向けた庁内調整会議 [予算担当課の調整] 12月19日 第8回特定課題対策分科会「先進地視察のまとめ等協議]

令和2年1月23日 第9回特定課題対策分科会 [調査検討報告の案協議]

1月29日 第44回行革推進部会 [調査検討報告の総合調整等]

2月3日 第60回総合戦略本部 [調査検討報告書の決定]

(2) 国土交通省職員との意見交換や先進地視察の実施

分科会のメンバーを中心に、国土交通省職員を招いた意見交換会やテーマに基づく先進事例と して選定した関係施設等を視察したが、その概要について整理した。

1) 国土交通省職員との意見交換会

関東地方整備局 建政部の職員4名が訪問、現地確認あり

※「まちづくり・すまいづくり相談室」事業の一環として来町

日時: 令和元年8月20日(火) 午後1時~4時30分

国:都市調整官、都市整備課長、住宅整備課長、企画調査第一係長

町:行革推進部会(建設課長、企画課長)、分科会メンバー(5名)、事務局

【趣旨】 関東地方整備局管内の市区町村が直面するまちづくり・すまいづくりに関する課題 及び対応方針について、関連する政策・事例情報を交えながら、国土交通省の担当官 等が相談・意見交換等を実施するものである。

【意見やアドバイス等の概要】

- ・現地を見たところ群馬原町駅の北側は区画整理を行い、商業施設などでにぎわっている。
- ・そのような状況で、駅南側の活性化ということだが、どこまでのエリアを考えているか。
- ・駅南側は空き店舗が多いようだが、町や民間で借りたり譲ってもらえる状況か。
- ・町内のまちづくりに関わるNPO法人や団体などの現状。
- ・公共施設等総合管理計画の策定状況と新たにハコモノを整備する場合の整合性。
- ・公共交通ネットワークの検討状況と健康づくりや高齢者対策の状況。 [鉄道やバスの利用者、原町赤十字病院への通院方法など説明]
- ・今後、新たに拠点的な施設整備を目指す場合はターゲットを絞り込む必要性がある。 [町民か町外の人か?世代や年齢層は?圏域(県内・県外)は?]
- 小さいエリアでのゆるやかな区画整理という手法も考えられる。
- ・町民ニーズの確認や話し合いの場を設けていく必要がある。[建設課より「駅南まちづくり連絡会」について説明]
- ・ J R 群馬原町駅 (南側) まで含めた検討を進めた方が良いのではないか。 「利活用のエリア設定が先決]
- ・分科会として先進地視察も検討中とのことであるが、事例紹介もできる。 など

2) 先進地視察

国土交通省の職員を初め、様々な情報を参考に近県や県内より選定した自治体(3箇所) 長野県 小諸市、群馬県 藤岡市·伊勢崎市

日時: 令和元年11月22日(金) 午前8時30分~午後5時15分

町:行革推進部会(建設課長)、分科会メンバー(6名)、事務局 計8名

【長野県 小諸市】人口:約43,000人(県内の沼田市·みどり市に近い)面積:98,66km²

- 〇こもろプラザ (1F 図書館・2F 市民交流センターの複合施設、市役所と病院に併設) 延床面積 2,150 ㎡ (うち閉架書庫300 ㎡)、R C造 一部 S 造等
- 〇小諸図書館長、業務責任者 (NPO 法人代表) 対応、館内案内後に会議室で意見交換 午前 10 時 30 分から正午まで
- 〇視察時の写真





(1F 図書館の様子、平日でもにぎわいのある館内)









(2F 市民交流センターの様子、ホールの他に会議室もある館内)





(施設 2F から市役所への通路、隣接のこもろ医療センター)





○参加者レポートの集約(視察を終えた感想や意見等)

- ・学習スペースを兼ねた図書館は参考になった。
- 読み聞かせができる構造が良かった。幼児に優しい作り方がとても良かった。
- ・市役所、病院、交流センター(図書館)とコンパクトにまとまったエリアが魅力的だったが、東吾妻町も日赤病院、群馬原町駅、上信道 IC と揃っているので魅力あるエリアが考えられると思った。
- ・現場で働いている人の意見は重要と感じた。
- ・ 高校生や病院をターゲットとした考え方や路線バス終点を図書館にした事など参考 になると思った。
- 見るからに豪華な施設で、建設費のかかった施設だと思う。
- ・NPO代表のような自分の意見を持ち、行動力のある方がいるからうまくいっている。
- ・図書の並べ方を一般的な方法でなく自前で考えた方式を採用するなど、よく考えて 運営していると感じた。
- ・東吾妻町中央公民館を大きくし、内容を充実させたような施設。
- ・建設に際してワークショップを繰り返し行い、住民の意見を取り入れた施設。
- ・敷地が広い、市役所、病院が同じ敷地にあり、駅も近い。立地条件が良い。
- ・施設完成後もワークショップを積極的に行っている。管理体制がしっかりしている。
- ・業務に係わった職員(経験者)や具体案を持っている職員で立ち上げたNPO法人と 業務委託することで、より良い運営ができている。現場を知る職員が多いのは強み。
- ・独自のカテゴリーで図書分類を行っている(書店に近い分類)。
- ・市民交流センターと併設することにより、図書館にも立ち寄る。利用者のターゲット を市民や高校生にしたのは大正解。
- 市民から昔の貴重な書物を寄付いただく取り組みが必要との話があった。
- ・今後、わが町で施設を計画していくのならば、早急に進めていくのではなく「どのようなコンセプトで進めていくのか」や慎重な計画の検討(住民対象施設なのか、集客対象施設なのか)を進めながら、町民を幅広く巻き込むワークショップを行っていけばより良い施設が出来ると思われます。
- ・小諸市のような施設は基本無理だと思うので、跡地に見合う施設の検討。
- ・図書配置が考えられており、利用者に優しい配慮がされていた (病気等に関わる図書 は利用者の死角へ配置、図書分野毎に色で分けるなど)。
- ・小さな子供が利用するコーナーも常設されており、幅広い年齢層に利用してもらう工夫がなされている。
- ・機械端末で予約から返却まででき、プライバシーにも配慮されている。
- ・カフェが併設され、飲食希望者も利用している。
- ・施設の完成までに 10 年以上の長い時間かかったようだが、市民と職員が協力して建設 していた。
- ・近隣の自治体からの高校生や病院利用者も多く利用している。ロコミなどで離れた町 からの利用者も多い。
- ・利用者のターゲットをどこに絞るかによって、施設のコンセプトや必要な設備なども 変わってくると思うので、事前に十分な検討が必要と思う。
- 完成後のスタッフの人材確保も、施設運営を成功させるためには重要。
- 病院が隣で当町と条件が似ている。病院利用者への図書貸し出しは良いと思う。

- ・近隣の子どもが良く来る、駅が近いのは条件が似ている。小中学生や郡内の高校生が 集まれる場所づくりの参考となる。
- ・無料 Wi-Fi はセキュリティと利用者の用途の調整が必要。
- 飲食できる場所は必要と感じた。

【群馬県 藤岡市】人口:約67,000人 面積:180.09 km

- ○道の駅ららん藤岡(ハイウェイオアシス、高速道路からも一般道路からもアクセス自由)
- 〇施設等見学のみ 午後2時30分から3時まで
- ○視察時の写真





〇参加者レポートの集約(視察を終えた感想や意見等)

- ・高速道と一般道からアクセスでき、高速バスのバス停も併設されており、利用者に とっては非常に理想的な施設だと思う。
- ・上信自動車道の開通後に群馬原町駅付近に同様の施設があれば良いが、敷地面積が 不足していると思う。
- ・敷地が広い。観光客をメインとした施設。飲食店等のテナントが多い。
- 観覧車、メリーゴーランドなど子どもも楽しめる。
- 施設内にコンビニがある。
- ・常設ステージがあり、イベントなどを多数開催している。また、冬場のイルミネーションは綺麗。
- ・花屋が多いと感じたが、売上げはどうなのかと感じた。
- 集客を目的とするなら、同様な施設でも良いのかと感じた。
- ・子供向けの遊具(小さな物でも)はあっても良いと感じた。
- 常設ステージは、ららん藤岡程度の大きさがちょうどいいと感じた。
- 平日の雨の日であったが、多数の来客あり。飲食店が多い。
- ・交通の拠点であり、バス停、駐車場、イベント広場もある。

【群馬県 伊勢崎市】人口:約 200,000 人 面積:139.33 km²

- 〇あずま総合運動公園(野外ステージあり、周辺に公民館や健康増進施設など併設)
- ○施設等見学のみ 午後3時30分から3時45分まで
- 〇視察時の写真





〇参加者レポートの集約(視察を終えた感想や意見等)

- ・芝生広場に設置された野外ステージだが、当町にあった場合は利用頻度を考え半常設 的なもので十分か。
- ・町内にあれだけの面積を持ち、運動場・公民館・プールなどの施設を併設していくことは困難だと思う(町内で可能な場所はハッ場ダムの大柏木 PY 跡地くらいか)。
- ・上物を造らないというコンセプトで、野外ステージや駐車場だけのおまつり広場的な 利活用であれば、旧庁舎跡地でも確保出来ると思った。

(3)分科会のまとめ(職員からの提案)

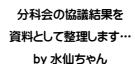
役場旧庁舎跡地の利活用について調査検討を進めたが、この協議結果を次のようにまとめた。 各課の垣根を越えて招集された職員提案であり、行革推進部会での総合的な調整を求める。

【協議を進める中で職員が話し合った課題等要約】

- ・多くの町民が世代を越えて利用できる場づくり [子どもから高齢者まで]
- ・高校生が放課後など学習に利用できる場づくり [吾妻中央高校からニーズ高い]
- 祭りやイベントの拠点の場づくり [ふるさと祭メイン会場の検討など]
- ・ 商工会と観光協会を含めた検討 [現事務所の老朽化や手狭さ]
- ・旧庁舎跡地だけにこだわらないJR群馬原町駅(南側)と原町赤十字病院まで一体的なエリア と考える必要性
 - ① 町の公共交通 (鉄道・バス)の主要拠点として再開発 [通学・通勤・通院、観光客等]
 - ② 上信自動車道の川戸·原町IC開設を見据え、高速バスも転回できる駅南側の再開発
- ・近隣の中央公民館や保健センターも含めた検討 [現有建物の老朽化や手狭さ]
- ・群馬銀行原町支店の統廃合[中之条支店へ2021年6月統合、空き店舗利活用の相談あり]
- ・施設を建設する場合の財源検討 [国庫補助金・交付金や民間資金等の活用]

【国土交通省職員のアドバイスを踏まえたターゲット(利用者)絞り込み】

- 新たに拠点的な施設を整備する場合、ターゲットを明確にしておかないと中途半端になり、 失敗するハコモノの例が多い。
- ・町民か町外の人か、世代や年齢層は、圏域は(県内・県外) ⇒ 内向き or 外向き





~ 「まちづくり」の最上位に定めるコンセプト(政策理念) ~

東吾妻町第2次総合計画(2018▶2027)

目指す将来像 「住民が誇りを持って暮らすまち - 東吾妻 きみと あなたと-」

東吾妻町都市計画マスタープラン(2019▶2038)

将来都市像 「自然ゆたかなみんなのふるさと 世代を超えていきいきと暮らせる 交流のまち」

○「はじまり」 東洋大学(田口研究室)からの提案

「群馬原町駅周辺(旧庁舎跡地)に東吾妻のシンボルとなる交流拠点をデザインする」

- ・まちの魅力を発信する
- ・町民に文化的な刺激をあたえる
- ・観光地や地区をつないでネットワークとして機能させる
- ・まちのコンシェルジュ(観光・文化、移住、店舗、農産物の情報提供・発信)の役割



○「手がかり」 町執行部の考え 【キーワード】

「にぎわい」「集い」「憩いの場」「喫茶」「バリアフリー」などの複合化施設



○「 方向性 」 行革推進部会(特定課題対策分科会)の提案 【コンセプト】

\sim 多世代交流エリア の提案 \sim

- ・今回の調査検討の結果、「多くの世代の町民が利用しやすい交流施設」を提案する。
- ・候補地は、役場旧庁舎跡地だけにこだわらず、別紙「調査概要図(航空写真)」を参考に、 町有地のあり方や財源の検討を含めた最終的な判断を行ってほしい。



(4) 東吾妻町役場旧庁舎とJR群馬原町駅周辺の写真

(上からの写真は原町赤十字病院屋上より撮影、平成30年7月)

















(5) 行革推進部会のまとめ(総合調整結果)

今年度に入って、分科会を中心に約8ヶ月に渡る調査検討へ各課横断的なメンバーで取り組み、 職員からの提案がまとめられた。

当部会としては、この内容と併せて今後の方向性を次のとおりまとめ報告することとする。

○ 旧庁舎の老朽化が進む中、できる限り早期に解体工事へ着手するとともに、町民の意見やサウンディング調査手法などによる民間事業者の意見を広く聞く機会を設けていく。また、事業化に向けた具体的な検討は建設課を担当として、JR群馬原町駅南側の活性化に繋がる「多世代交流エリア」の整備を目指していく。



- 3 行革推進部会(特定課題対策分科会)の組織体制
- (1)検討にあたったメンバー
 - 〇行革推進部会

建設課長 桑原 正明(部会長)

総務課長茂木聡企画課長水出智明税務課長髙橋篤上下水道課長一場正貴会計課長田中康夫社会教育課長丸橋昇

〇特定課題対策分科会 ※具体的な課題(事業)について庁内横断的に進めるため新設

企画課 次長 谷 直樹 (リーダー)

まちづくり推進課 補佐小池和良企画課補佐町田隆保健福祉課補佐小林稔建設課補佐加部貴宏社会教育課係長茂木善知総務課係長日野辰彦

〇部会、分科会の庶務 [事務局]

企画課 補佐 蜂須賀 徹



住民が誇りを持って暮らすまち

- 東吾妻 きみと あなたと -

東吾妻町総合戦略本部

事務局 東吾妻町役場 企画課 〒377-0892 群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町 1046 TEL 0279-68-2111 FAX 0279-68-4900 E-mail kikaku@town.higashiagatsuma.gunma.jp